平成 24 年 8 月 1 日

各位

上場会社名：　株式会社インタートレード
代 表 者 名：　代表取締役社長　尾﨑　孝博
（コード番号：3747　東証マザーズ）
本社所在地：　東京都中央区新川一丁目 17 番 21 号
問い合わせ：　経営企画部長　　山野　潤
電 話 番 号：　03-4540-3002
U　R　L　：　http://www.itrade.co.jp/

「フードサービス事業」開始のお知らせ

株式会社インタートレード（以下、当社）は、本日開催の取締役会にて「ハナビラタケ」関連商品の生産及び販売を中心とした「フードサービス事業」開始について決議しましたので、お知らせいたします。

記

１．事業開始の趣旨

当社のこれまでの事業領域は証券分野に特化したものでした。特にディーリングシステム事業は、13 年前の創業期においては、証券分野におけるシステム化や自己売買に関する関係当局による規制強化、時価会計へのシフトといった当時の潮流にマッチしたビジネスであったと認識しています。

しかしながら、当社が日本の証券業界に根付かせてきたディーリングシステムなどの証券ソリューションは、時代の流れとともに外資系や大手ベンダーの進出により価格競争が激化し、当社は現時点においても国内シェアはトップを維持しつつも、その収益構造は大幅に変化しています。

証券分野に一極集中した当社の収益構造は、数年前より当社の課題であると認識し、その課題への対策をさまざまな視点から検討してまいりました。

本日決議した「フードサービス事業」は、昨今の高齢化社会を背景にした「健康意識の高まり」をキーワードとして事業を展開するものです。これにより事業領域と顧客層の拡大を図り、経営におけるリスクの分散と収益構造の強化を目指します。

相対的にシュリンクしている証券ソリューション分野での収益のみに頼るのではなく、他事業においても収益を獲得し当社グループの収益構造を強化することで、証券ソリューション分野においても更なる研究開発などを通した新たなソリューションを提供し、継続的な発展が可能になると考えています。

「フードサービス事業」は

① 商品の魅力

② 潜在顧客

③ 既存経営リソースの活用

④ シェア拡大の可能性

の観点から、「健康」の面で当社が新たな価値創造を実現し、結果として企業価値を高めていくことが可能な分野と判断しました。

① 商品の魅力

フードサービス事業では「ハナビラタケ」の健康食品（サプリメント）及び生鮮食品等の生産、販売を行います。機能性キノコである「ハナビラタケ」（学術名：Sparassis crispa）はβ-1,3D-グルカンを豊富に含有するなど、健康維持に有用なキノコです。また、シャキシャキ・コリコリした独特の食感は、食材としての新たな可能性を秘めています。

② 潜在顧客

昨今の高齢化社会等を背景とした健康意識の高まりから「ハナビラタケ」は今後注目される可能性を秘める食材です。

キノコの市場規模については、「えのきたけ」（140,951 トン）「ぶなしめじ」（110,485 トン）など年間生産量が 10,000 トンを超える品種が 6 種類あります。（平成 22 年度林野庁調査）

一方「ハナビラタケ」の年間生産量は約 90 トンにとどまっており、これは栽培環境等がデリケートであり、大量生産が難しいことに起因しています。生産効率を上げることができれば、健康維持に有用な「ハナビラタケ」の流通量を増やし、多くの潜在顧客を「ハナビラタケ」のファンとして顕在化させる可能性が開けます。

③ 既存経営リソースの活用

当社の手元資金と、既存事業で培った IT 技術を活用します。

「ハナビラタケ」はその生産技術の難しさから、生産者も少数であり市場への流通も極めて限定的となっています。当社は「ハナビラタケ」の生産ノウハウを持つパートナーシップ企業により技術指導を仰ぎながら設備投資を行い、安定的な量産体制を構築します。

また、キノコ栽培技術には機械的なハードウェア要素に拠るところも多く、将来的には当社の IT 技術を通じた大量生産技術の確立も視野に入れています。

④ シェア拡大の可能性

「健康」の面から訴求力がある「ハナビラタケ」は成長の可能性を持つ一方で、現時点では大企業が本格的に参入していない市場です。当社は速やかに量産体制を整え、安定的な販売を行うことで、この市場で大きな存在感を発揮することを目指します。

２．新たな事業の概要

（１）新たな事業の内容

主に「ハナビラタケ」の健康食品（サプリメント）及び生鮮食品の生産、販売を行います。

＜販売面＞

健康食品につきましては、「はなびらたけ粒（※1)」を今月より試験販売します。生産活動の事情により原料調達力も当面は限定的であり少量の限定販売となりますが、販売活動と同時並行での試験研究活動を予定しており、研究成果に応じた製品ラインナップ・販売数量の拡充に順次取り組んでまいります。

また生鮮食品の販売につきましては、食用としての味覚等にもこだわり、自然環境に近い形での菌床栽培を実施し、積極的な卸売展開を予定しています。

※1 当社試験販売サプリメント「はなびらたけ粒」



＜生産面＞

自社生産施設（以下、プラント）を設立します。物理的利便性やコスト効率等を考慮の上、山梨県の既存工場跡地を改修し設立する事としました。本年 5 月下旬より改修工事を実施しており、8 月初旬には竣工予定、8 月中旬より本格的な生産活動を順次開始します。

※ 当社プラント



※ ハナビラタケ栽培イメージ（当社試験栽培風景）



■ 所在地　　：山梨県

■ 敷地面積　：約5,000平方メートル

（建物は約2,000平方メートル）

（２）当該事業に該当する部門

フードサービス事業推進部

（３）当該事業の開始のために支出する金額及び内容

プラント設備費用として、平成 24 年 9 月期中に合計 110 百万円の支出を予定しています。

３．日程

（１）取締役会決議　平成 24 年 8 月 1 日

（２）事業開始期日　平成 24 年 8 月 1 日

４．今後の見通し

本件の売上への寄与は来期以降本格化するため、平成 24 年 9 月期の業績予想の修正はありません。

■お問合せ先

商品内容お問合せ先	IR・報道関係お問合せ先
株式会社インタートレード フードサービス事業推進部 電 話　：　03-4540-3060 E-Mail　：　sales@itrade.co.jp	株式会社インタートレード 経営企画部 電 話　：　03-4540-3002 E-Mail　：　ir@itrade.co.jp
URL　：　http://www.itrade.co.jp	

以上